



魯桃桜

編集・発行 長野市立長野図書館
〒380-0843 長野市長門町 1097-3
電話 026-232-3558
<https://library.nagano-ngn.ed.jp/>



トラベルブルー



みなさんはこんな経験はありませんか。

旅行に行くときです。旅行のプランを考えている時は楽しいのですが、出発日が近づいてくると「あ～、面倒くさい。」「旅行なんか行きたくない。」となぜか憂鬱な気分になるのですが、いざ旅行が始まるとそんな気分はどこかに消えています。

この現象を「トラベルブルー」と言います。こんなネーミングがあるということは、人によって症状は様々ですが多くの方が陥る現象だそうです。言葉が通じなかったら、体調が悪くなったらどうしようと考え過ぎるとストレスになるのは当たり前で、この症状は脳が正常な反応を起こしているだけで時間が経てばそのうち消えていきます。

先日、甥から「旅行に行こう。」と誘われました。この話の発端は昨年私が「海外にでも行きたいなあ。」とつぶやいたのがきっかけです。甥から声をかけてもらえたのが嬉しくて「行きたい。」と即答しました。

行程を考えるのはいつもどおりワクワクしました。が、行程が決まりひと段落したらいつものあの気持ちがやってきました。出発すれば消えていく症状だと分かってはいるのですが、やはりあのブルーが苦手です。

出発まで数か月あります。ブルーに耐え切れず「やっぱり行かない。」と甥に宣言しないよう粛々と当日を待つ毎日です。



2月テーマ「脳の世界」

脳、小脳、海馬、前頭葉…脳にはたくさんの部位がありますが、それぞれどんな機能があるのでしょうか。脳は全身のコントロールを担う中枢と言われます。神経をとおして身体全体とつながって、感じたり、動かしたり、考えたりと様々な働きをしています。また脳がつく言葉では、脳科学、右脳・左脳、脳トレなどが話題になりました。脳について改めて注目してみませんか。



12月・1月発表の文学賞

第172回 芥川龍之介賞(2024年下半年期)

『^{デートピア}DTOPIA』

安堂ホセ/著 《Fア》

『文藝』2024年秋号掲載

『ゲーテはすべてを言った』

鈴木結生/著 《Fス》

第172回 直木三十五賞(2024年下半年期)

『藍を継ぐ海』

伊与原新/著 《Fイ》

第51回 大佛次郎賞

『「喜劇」の誕生』

日比野啓/著 《発注中》

第41回 織田作之助賞

『生きる演技』

町屋良平/著 《Fマ》

『文藝』2023年秋号掲載



図書館カレンダー

平日 9:45～19:00

土日祝 9:45～18:00



2月							3月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1							1
2	3	4	5	6	7	8	2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15	9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22	16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28		23	24	25	26	27	28	29
							30	31					



新刊案内

『弁理士と考えるAI×著作権』

竹居信利/橘祐史/著

技術評論社《021タ》

画像や文章などを生み出せる「生成 AI」。知的財産の中身やAIのしくみ、AI周辺の権利問題にいたるまでを過去の裁判や海外の事例などを踏まえつつ、要点および論点・争点となっている箇所を整理、解説する。

『ゲッターの娘たち』

ジュディ・バタリオン/著

国書刊行会《234ハ》

ナチスに対するレジスタンスに参加し、ゲッター内外で戦った無名の若いユダヤ人女性たち。戦争への怒り、そして女性たちの誇りと友情を描き、知られざる歴史に迫る。

『プランクトンの世界』

トム・ジャクソン/ジェニファー・パーカー著

グラフィック社《468シ》

世界中の海洋において、食物連鎖の一環としてほぼすべての海の生きものたちを支え、陸上の動植物などの生物にとってもかなり重要な存在であるプランクトン。その基本的な役割や生態を、美しいビジュアルで解説する。

『アーベド・サラーマの人生のある一日』

ネイサン・スロール/著

筑摩書房《936ス》

ヨルダン川西岸地区で、園児たちの乗ったバスが燃えた。壁、検問所、無関心に阻まれる救助活動。アーベドは息子を探して奔走する。占領とはなにかを問う、悲劇のノンフィクション。

『色彩の魔術師エリック・カールの絵本とアート』

ペンギン・ランダムハウス/編

偕成社《726カ》

生い立ちや影響を受けた人々、絵本作家への道、アイデアはどこからくるのかなど、エリック・カールの生涯と絵本づくりの秘密にせまる。絵本のイラスト、実験的な抽象作品、制作技法も収録。観音開きのページあり。

『蕎麦打ち万太郎』

原宏一/著

祥伝社《Fハ》

モンゴル出身の力士万太郎は、引退して一念発起。蕎麦打ちの修業を重ね、妻とともに新橋に店を開いた。ある日の開店前、万太郎は馴染みのコノ字酒場で女将からある相談を受けて…。『小説 NON』連載に加筆修正。

2月映画上映予定

午後2時から 3階視聴覚室

2月8日(土)

タイトル:「私の頭の中の消しゴム」

字幕・カラー・117分・2004年韓国作品

監督:イ・ジェハン

CAST:チョン・ウソン/ソン・イェジン

ペク・チョンハク

2月22日(土)

タイトル:「パンドラ」

字幕・カラー・123分・1951年イギリス作品

監督:アルバート・リュウイン

CAST:ジェームズ・メイソン/エヴァ・ガードナー

ナイジェル・パトリック/シーラ・シム

新着 CD 紹介

私たちの青春ポップス全集 80's third 《763780-3》

ハリウッド映画音楽名曲集 《778ハ》

二人の宇宙戦艦ヤマト 《778ミ》

名人による古典落語 《779メ》

城山三郎講演 第2集 《809シ2》

見たり聞いたり

～新着 AV から
ピックアップ～

レインボー フラワーズ
Rainbow flowers

水野 まな/IEWI 《763ミ》

ウィンドシンセサイザーEWIで奏でる完全オリジナル曲を収録したアルバム。クラリネットのような形状をしたエレクトリカルな楽器、EWI。美しい楽曲を、丁寧に奏でる楽器の魅力を楽しめるアルバムです。